

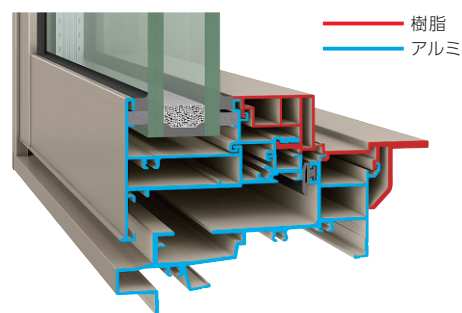
アルミと樹脂のハイブリッド構造で、
断熱等級の上級グレード H-6 を実現※1。



※1 JIS規格(JIS A 4702およびJIS A 4706)による。
断熱性H-6は、空気層16mm以上のアルゴンガス入りLow-E複層ガラスを使用した場合。

樹脂よりも強く、アルミよりも心地よく。

Grows-Hは、室外は強度・耐久性に優れた「アルミ」、室内は断熱性に優れた「樹脂」を融合した「ハイブリッド構造」を採用。従来のビルサッシと異なる構造が、断熱性を飛躍的に高めています。

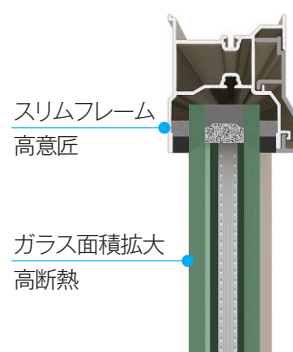


※上図はたてすべり出し窓。
※使用するガラスの熱貫流率により、断熱性能は異なります。

フレームをスリム化し、断熱性を向上。

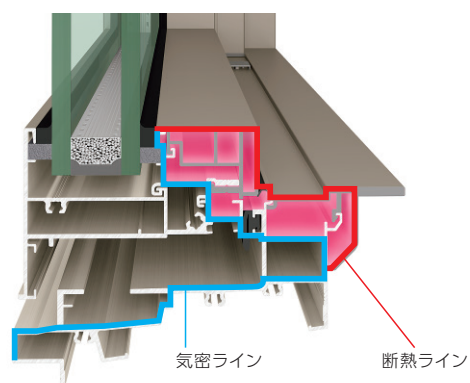
窓の断熱性を高めるためには、熱を通しやすいフレームを小さくし、熱を通しにくいガラス面を大きくする必要があります。

Grows-Hは、フレームを極限までスリム化。ガラス面積を拡大することで、断熱性を向上させています。



気密ラインと断熱ラインの分離で、断熱性を向上。

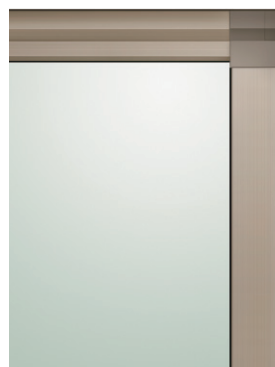
気密ラインの内側に多層ホロー空間を確保し、断熱性を向上させています。



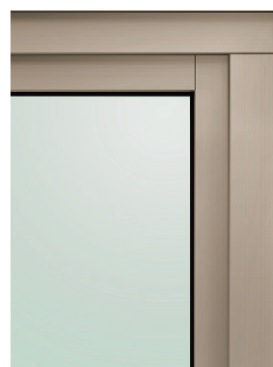
※たてすべり出し窓

眺望性・採光性に優れる スマートなフレーム。

スリム化されたフレームにより、ガラス面積が拡大。
眺望性・採光性を高めています。



引違い窓



たてすべり出し窓

スマートなフレームにマッチする 統一されたパーツデザイン。

クレセントやハンドルなどのパーツデザインを統一。
重厚で高級感のあるダイカスト製部品です。



クレセント



ハンドル
(たてすべり出し窓)

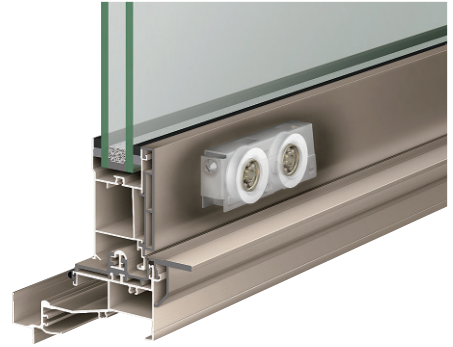
構造を見直した、 シンプルでフラットなデザイン。

Grows-Hでは、形材や部品による凹凸を
極限まで減らすことで、シンプルでフラットな
デザインを実現させています。



ベアリング戸車の採用で、 軽快な操作性を追求。

複層ガラスの普及やサッシの大型化により、障子の開閉が重くなるケースが増えています。これを解決すべく、Grows-Hでは小径のベアリング戸車を採用。スリムなフレームのまま、スムーズな開閉を実現させています。



上枠気密構造の見直しにより、 開閉力を低減。

枠と障子の気密を保つ気密材の摩擦抵抗が大きいと、開閉が重くなります。Grows-Hでは、レール構造の変更や気密部品形状の改良など、気密構造を大幅に見直し。気密材の摩擦抵抗を小さくし、軽快な操作性を実現させています。

